



心を育てる絵本の紹介

おすすめ
絵本



養護教諭(保健室の先生)時代に出会った絵本、小学校で 40 年勤務し、退職してから出会った絵本で、保健室で、個別に読み聞かせしたり、保健指導、保健委員会で活用したりしていました。絵本の紹介をします。

No. 1 **かみさまからのおくりもの**

養護教諭時代、児童保健委員会の活動が、大好きでした。保健委員の児童と、共に活動して、何かを作り上げていく事に、いつもワクワクしていました。その当時、勤務していた学校は、心の教育に力を入れていて、学期に 1 回、心のふれあい週間が設定されていました。心の指導をいろんな場面でしていました。そのひとつに…保健委員の児童集会での発表が位置づけられていました。

3 学期のテーマ「**命を大切にしよう**」にピッタリなものはないかな…?と考えていた時に、出会ったのが、この絵本でした。



作 樋口通子(ひぐちみちこ)
発行所 こだま社
1984 年 9 月 25 日第一刷発行

赤ちゃんが、生まれる時に、神様は 一人ひとりの赤ちゃんに 贈りものをくださいます。神様からの 贈りものは、天使が運んでくるのです。という言葉から始まり…神様は、赤ちゃんの特徴をとらえて、贈り物を決め、天使に届けてもらうのです。それは…**よく笑う・力持ち・歌が好き・よく食べる・やさしい**でした。神様からの贈りものをもらった赤ちゃんは、それぞれの贈りもの(個性)を活かしてステキな子どもに成長します。最後には…神様に**感謝の気持ち**を伝えます。

こどもたち一人一人が、違う個性を持っていて、**それは、かけがえのないものです。**



絵本の内容を、**子どもたちに伝えたい!**

かみさまからのおくりものは…すべての人に必ずあります。

自分は、どうなのか? 自分のおくりものは何なのか? を考えるきっかけになればいいなと思って、児童集会で発表(劇)しました。

この発表の時の役決めて…子どものすばらしさ、可能性を感じた出来事があります。**言葉がうまく話せない子が、「歌が好きな役」に立候補**したのです。

そして…見事に、歌いあげました。そして、その子は、翌年、保健委員長に立候補したり、ナレーター役を引き受たりしました。

すごくないですか…だから…保健委員会活動は、やめられない。

子どもの可能性は、無限大!!

みんな、かみさまからのおくりものを…いっぱい、いっぱい、もらっているんですね。そんなことに、気づかせてくれる絵本でした。

自分は、かみさまからどんなおくりものをもらったのでしょうか。

絵本を読んで…自分事で、考えてみるのをおすすめします。

ちなみに…児童集会(劇)を見た後は、児童たちは、自分の神様から贈り物は何かを考えるワークをしました。



No.2 ワニくんのおおきなあし

この絵本は、心のことを伝えるのにとってもおすすめの絵本です。

自分の嫌なところに焦点が当たっていると…いつまでも嫌で、さらにそのイヤな気持ちが、どんどん大きくなっていき、自己否定につながってしまう。そんなことはありませんか？

自己否定の気持ちを変えることはできないのでしょうか？視点を変えると、良い面もあることに気づくことができる。

自分は、どこを見て生きていくのか？問いかけてくる絵本です。

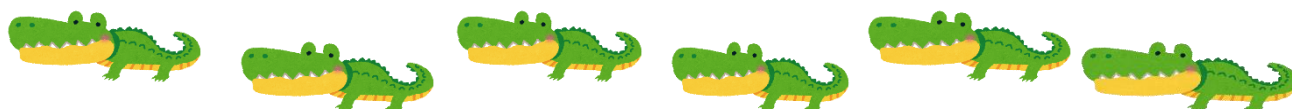
7月にA中学校で、オンラインの心の授業を担当させていただきました。テーマは「こころを整理し、しなやかに生きる」

(認知行動療法のエッセンスを取り入れて)その授業の導入部分で読み聞かせて活用しました。



作 みやざきひろかず
出版社 BL出版株式会社
1985年

主人公のワニくんは、自分の大きな足がイヤで、イヤで仕方がありません。足が大きいせいで、困ったことがいっぱいあるからです。何とか小さくしようと…色々やってみます。洗濯したり、冷蔵庫で冷やしたり、でも、中々うまくいきません。自分の思い通りにはいかなくて…神頼みをするワニくんです。でもでも…よくよく考えて…大きな足は悪い事ばかりではない。大きな足にも良いところはあると気づいて、大きな足を受け容れ、自分の大きな足にエールをおくっています。



ワニくん、すご～い！！自分の思い込みに気が付いて、自分のありのままの姿を受け容れていくなで…自分のこういう所きらいだな～！いやだな～と思うことってありますよね。いやだいやだと思っていると、どんどんネガティブに考えてしまいがち…一つのことには、よい面もあれば、悪い面もあります。100%悪い人間も、100%完璧な人間もこの世の中にはいないとおもいませんか？

短所と思えることも、時と場合によって…案外いいな…と思えることもあります。違う考え方をしたら、新しい自分に気づくことができるかもしれません。違う考え方ができれば…いやな気持ち

少しは軽くなるかも…**「考え方で気分は変わる。」**心の授業に活用できます。



ちなみに、ハートマッスルトレーニングジムの教材紙芝居「なきむしおばあさん～毎日を楽しむヒント」も**「考え方で気分は変わる。」**がテーマですよ。養護教諭時代に低学年で「まいにち、しあわせにすごそう」の授業で、活用させていただいていました。

